

 シリーズ「きょうだいの思い」 38

きょうだい⑤

今まで私が出会った内の何人かのきょうだいの事を書いてきて、今回で5回目になった。きょうだいに共通して言えることは、障がい児の親とは違って『きょうだいは、同じような立場のきょうだいと出逢うことが、ほとんどない』ということだ。

私も家庭を持ち、弟を理解してくれる夫…いや、あえて付け加えて言うならば『自閉症の弟』を理解してくれる夫がいるが、やはりきょうだいである私の胸の内は、同じきょうだいの方が手に取るようにわかり合える。

自分の両親でも、きょうだいである私とは立場が違う。両親には健全なきょうだいが何人もいて、息子(弟)を授かるまで過ごしてきた半生と、私が物心ついた頃から現在までの人生は違うものだと感じている。

『親は半生、きょうだいは一生』で、自閉症の弟がいる家族という『劇場』は同じでも、それぞれに立つ『舞台』は別で、その舞台で経験することも見える世界も違うはずだ。

きょうだいであることに息苦しさを感じたり、解放されたいと投げやりになったり、両親に腹を立てたり、他人を羨ましく思ったり、私の心の奥底は濁っている。でもこの濁った感情と折り合いをつけるのは、他の誰でもなく自分自身だということもわかっている。きょうだいから逃げる選択もあるが、だからと言って何もかも解放されるものではない。

どちらを選んでも心の奥底の濁りが澄むことはない。

辿り着く答えなどなく「しゃーないわ」と自分との和解をする。

幼少期や10代の頃は、自分を客観視できなかったので言葉で表現できなかったが、振り返れば「しゃーないわ」と自分で自分に言い聞かせて、蓋をしてきたように思う。

『しゃーない=仕方ない』

この日本語がなければ、どうやって自分の感情を片付けてきたらろうか。

これ以外の言葉があるならば、誰か教えて欲しい。

つづく

まえほ
つうしん
前穂通信

発行日	2015年8月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600

 高槻市地域生活支援事業の1割負担金変更に関して

7月1日より、高槻市の地域生活支援事業の報酬改定が行われました。日中一時支援及び移動支援の報酬改定に伴い、1割負担金に変更となります。日中一時支援に関しましては、下記表の内容となり、1単位につき、101%の改定となっております。(今まで1単位200円であったものが今後は202円となります。)移動支援につきましても、1割負担金が発生する方で、利用時間が12時間を超えた場合に、今迄の負担金に変更になっています事をご了承の程、宜しくお願い致します。



日中一時支援サービス単位	単価(円)			
	改定前	改定後	1割負担	増減
4時間以下(1単位)	2,000	2,020	202	101.00%
4時間を超え8時間以下(2単位)	4,000	4,040	404	101.00%
8時間を超える(3単位)	6,000	6,060	606	101.00%

 急激な天候の悪化にご注意ください

今夏は台風や豪雨、急激な天候の悪化が多発しており、高槻市内におきましても地域により一時避難などの状況になっております。今後も悪天候により、ショートやガイドの予定変更等が起きることが予想されます。ご利用時間の変更や、各種警報などによるご利用見合わせなど、これまで通り安全を第一に考えてゆきたいと存じますので、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。